

講座

「描く」から アートを考える

「描く」という体験と講師による講義を通じて、美術の成り立ちやアーティストの視点、アートの捉え方を考えます。モチーフをじっくりと観察して、思考を巡らせたり、大胆に手を動かしてみたりしながら自分なりの「表現」について考えてみましょう。絵を全く描いたことのない初心者の方や絵が好きでアートをもっと知りたいという方、ものごとを考える頭をやわらかくしたいという方にもおすすめです。

Day1

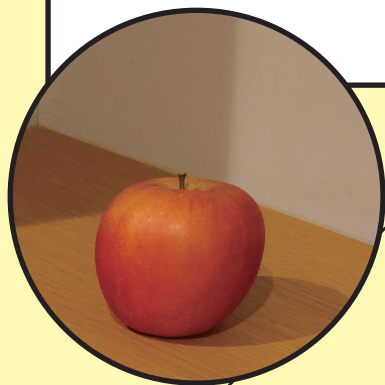
「りんご」を描く

2026年2月11日(水・祝)

時間 13:30~16:00

場所 市民アトリエ・ギャラリー

長野県の人にとっては特に親しみのある「りんご」。西洋美術では多くの作品でモチーフとして描かれてきました。形、色、手に取った時の質感、香り、、、実物をよく観察することで様々なことを感じ取ることができます。自分の表現にあう画材を試しながら描いてみましょう。講義ではりんごが描かれた絵画を取り上げ、画家がどのようにりんごを捉えて描いたのかを紐解きます。



参加を希望する回を
お申し込みください
両日のご参加也大歓迎！

Day2

「窓」を描く

2026年2月14日(土)

時間 13:30~16:00

場所 子どもアトリエ

絵画の中で「窓」は様々な意味合いを持ち、描かれた空間を演出する役割を果たしています。また、窓によって切り取られた風景は時に「絵画のよう」と称されることもあります。講義では講師の作品や実践について取り扱い、「風景を切り取る(フレーミング)」ということについて深掘りします。風景を切り取る「窓」について、考えたり、描いたりしてみましょう。



講 師：母袋俊也もたい としや(画家、東京造形大学名誉教授)

対 象：高校生以上

定 員：各回20名(先着)

参加費：各回1,000円(材料費含む)

申込み：2026.1.29(木)9:00~2.4(水)17:00に
ホームページ内申込フォームから



持ち物：汚れてもよい服装(エプロンなど)

・普段ご自身で使用していたり、講座で使いたい画材があればお持ちください。

・2.14(土)は外での活動もあるので、暖かい服装でご参加ください。